

LCV「諏訪圏情報BOX」(第20回)について

- 放送日 平成31年1月22日(火)・29日(火)
- テーマ 「長野県シニア大学諏訪学部 平成31年度学生募集」について
- 出演者 長野県シニア大学諏訪学部 学生 小林芳夫・樋口夏美
長野県長寿社会開発センター諏訪支部 小口修平
- 聞き手とのやりとり(概要)

Q1 今日長野県シニア大学諏訪学部をご紹介します。シニア大学の概要について担当の小口さんから説明してください。

小口 概ね50歳以上の方が対象で、年間15日、60時間の講座を2年間受講していただきます。学費は年間1万円です。それぞれの講座は基本的に1回だけの独立講座ですが、趣味の領域を広げる実技講座は年7回、受講していただきます。

Q2 今日お2人の諏訪学部の学生さんにも来ていただいております。小林さんと樋口さんです。お2人はどのような動機でシニア大学に入学されましたか。

小林 会社を定年退職し、山に憧れて諏訪に移住してきました。山登り三昧でしたが、シニア大があるということを知り、諏訪のことも知りたいたいし、少しアカデミックな遊びもしたいと思い、入学しました。

樋口 私は看護師として定年まで病院に勤めて退職したところで、このまま家庭に入ってしまうとボケるのも早いかなと思って、何か地域のためにできることがあればと思い、入学しました。

Q3 シニア大ではどのような授業を受けておられるのですか。

小林 幅の広い分野から、それぞれ概論的な授業を受けています。手長神社の宮坂宮司による「諏訪信仰について」などの歴史ものから、諏訪中央病院の高木副院長の「認知症について」、あるいは、障がい者支援センターオアシスの茅野先生からは「発達障がいについて」など、普段の暮らしにおいて知っておきたい健康づくりや社会的問題について、そのほか音楽や書道、俳句といった趣味の世界を広げる講座もあります。

樋口 シニア大が一番力を入れている講座で社会活動講座というのがあって、私たちはセンターの内山理事長の講義を受けました。最初は何を求められて

いるのかさっぱり分からなかったけれども、仲間と話し合い、いろいろな施設を訪ねたりしているうちに、私たちが地域社会に対して何ができるのかということが少しずつ分かってきて、この卒業前にはなんとか卒業レポートを発表できそうです。

Q4 お2人は、この2月で2年間の規定時間を終了されて、無事ご卒業とのことですが、小林さん、シニア大で得たものを一口で言うとどんなことになるのでしょうか。

小林 やっぱり今までなんのつながりもなかった人たちと知り合えたこと、そしてその人たちと、しっかり友情の絆が結べたことかと思います。社会活動講座をまとめていく過程や、学園祭の開催に向けてそれぞれ担当を決めて責任を全うしていくなかで、誰がどのような性格で、どう会話していけばゴールにたどり着けるか、いい経験をしたと思っています。そして人生のなかで新しい友達ができただけで、それは何より有り難いことでした。

Q5 シニア大に入学するためにはどうしたらよいのでしょうか。

樋口 この2月1日から31年度の学生募集が始まります。募集定員は100人です。入試はありません。合同庁舎の2階、諏訪保健福祉事務所福祉課が窓口ですが、各市町村の高齢者福祉担当課にも願書があり、相談にのってくれます。合同庁舎の福祉課の電話番号は57-2910です。きっと有意義な時間を過ごすことができます。シニア大学への入学をお勧めします。